

国土数值情報（空港）

製品仕様書

第 1.1 版

平成 19 年 5 月

国土交通省国土計画局

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	3
1.7 参考資料.....	3
2 適用範囲.....	4
2.1 適用範囲識別.....	4
2.2 階層レベル.....	4
3 データ製品識別.....	5
3.1 製品仕様識別.....	5
4 データ内容および構造.....	6
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	6
4.1.1 国土数値情報パッケージ.....	6
4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	7
4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ.....	8
4.1.4 国土骨格パッケージ.....	11
4.1.5 空港パッケージ.....	12
4.1.6 共通パッケージ.....	17
4.2 空間スキーマプロファイル.....	18
4.3 時間スキーマプロファイル.....	18
5 参照系.....	19
5.1 座標参照系.....	19
5.2 時間参照系.....	19
6 データ品質.....	20
7 データ製品配布.....	27
7.1 配布書式情報.....	27
7.2 配布媒体情報.....	27
8 メタデータ.....	28
【付属資料】	
1 符合化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
2 符合化仕様.....	3

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（空港）製品仕様書 第 1.1 版
- 日付：平成 19 年 5 月 31 日
- 作成者：国土交通省 国土計画局 総務課 国土情報整備室
- 言語：日本語
- 分野：運輸
- 文書書式：PDF

1.2 目的

本製品仕様書は、地理情報標準プロファイル（JPGIS）第 1.0 版に可能な限り準拠した国土数値情報データを構築し、国土形成計画の策定を支援することを目的とする。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
 - 日本全国
- 時間範囲
 - 1975 年度から本製品仕様書に基づき作成されるデータの作成年度まで

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 平成 17 年 3 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版「附属書 5 (規定) 定義」

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

(<http://niftp.mlit.go.jp/ksj/>)

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（空港）製品仕様書第 1.1 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（**空港**）データ

■ 日付

2007年5月31日

■ 問合せ先

国土交通省 国土計画局 総務課 国土情報整備室

電話 : 03-5253-8111 FAX : 03-5253-1569

Email : nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

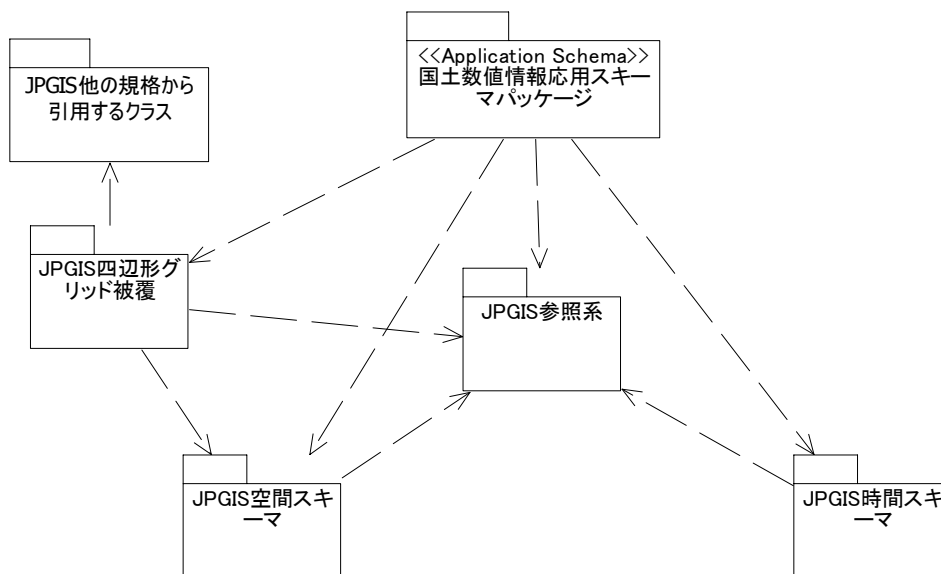
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

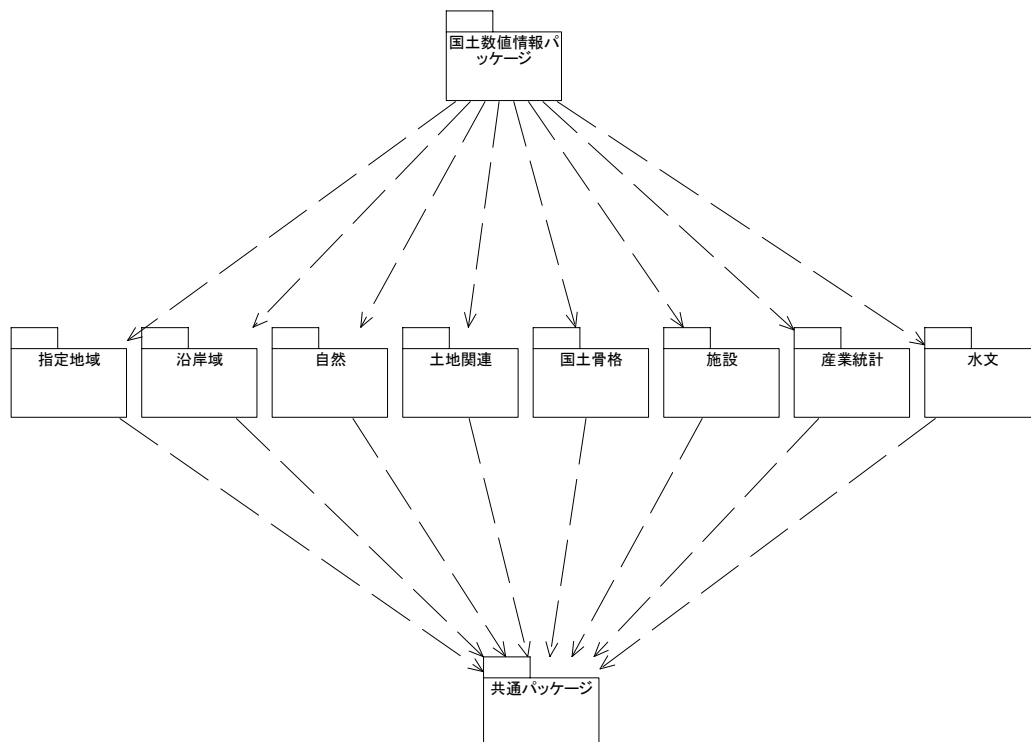
4.1.1 国土数値情報パッケージ

このパッケージは、国土数値情報のパッケージ構成をまとめたものである。国土数値情報応用スキーマで使用する JPGIS の型に関するパッケージと国土数値情報応用スキーマパッケージの依存関係を示す。



4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ

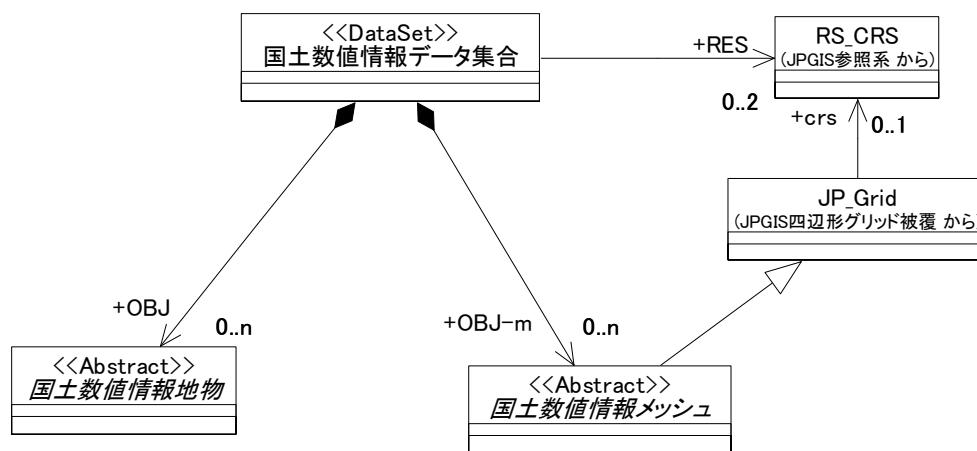
このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ

このパッケージは、国土数値情報データ応用スキーマに含まれる全ての地物およびメッシュをまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

国土数値情報データ集合

1 つ以上の国土数値情報地物あるいは国土数値情報メッシュから構成される国土数値情報のデータセット。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：具象

関連役割：

参照系[1..2]：RS_CRS

座標参照系および時間参照系への参照。座標参照系については必ず記載する。

オブジェクト（地物）[0..n]：国土数値情報地物

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報地物。

オブジェクト（メッシュ）[0..n]：国土数値情報メッシュ

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報メッシュ。

国土数値情報地物

国土交通省国土計画局総務課国土情報整備室が提供する国土数値情報ベクトルデータ項目。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：抽象

国土数値情報メッシュ

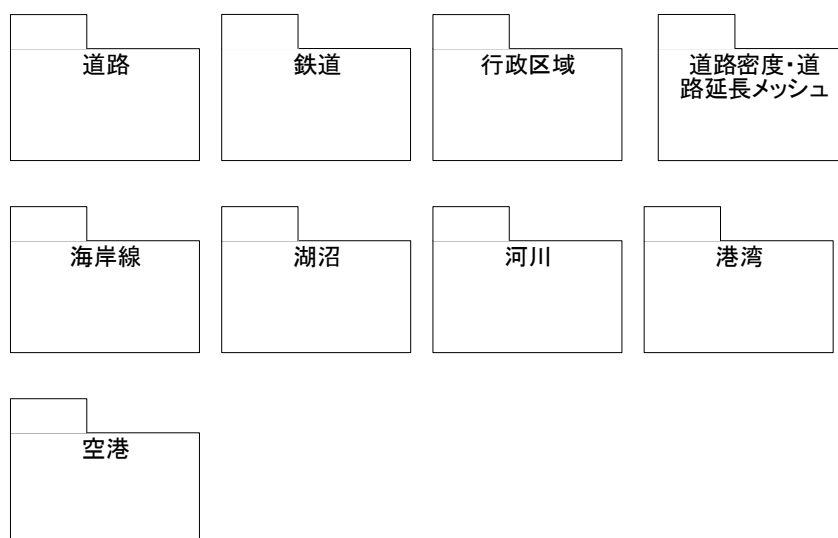
国土交通省国土計画局総務課国土情報整備室が提供する国土数値情報メッシュデータ項目。

上位クラス：JP_Grid

抽象/具象区分：抽象

4.1.4 国土骨格パッケージ

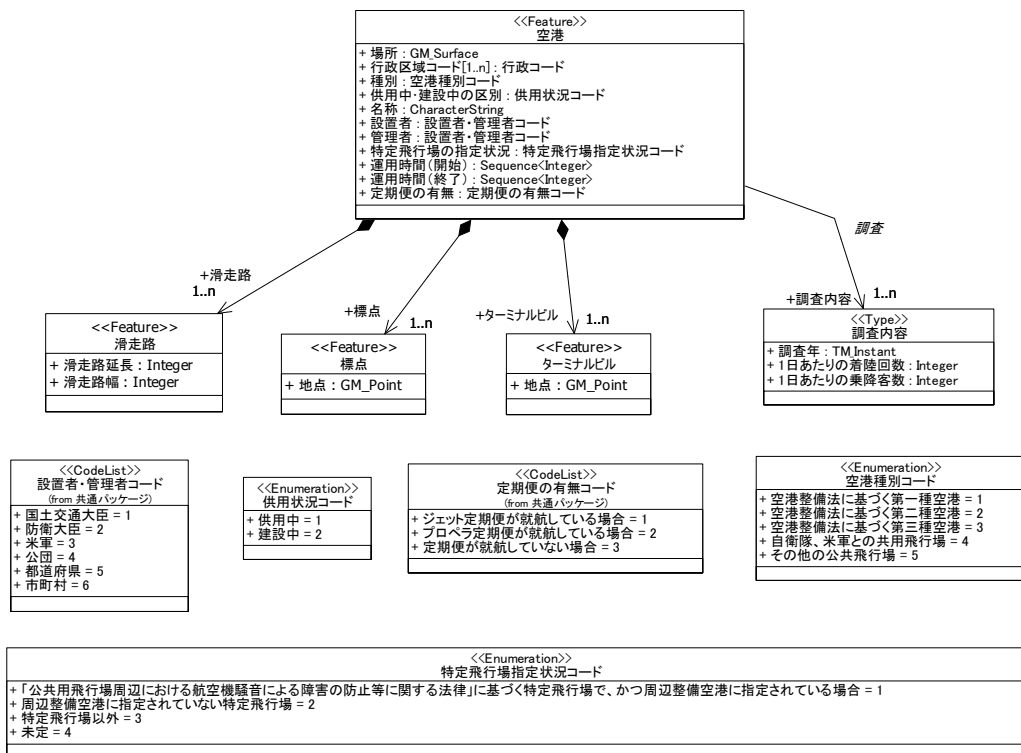
このパッケージは、空港パッケージ、道路パッケージ、鉄道パッケージ、行政区域パッケージ等、国土骨格に関するパッケージをまとめたものである。



4.1.5 空港パッケージ

このパッケージは、空港に関する内容をまとめたものである。

4.1.5.1 応用スキーマクラス図



4.1.5.2 応用スキーマ文書

空港

行政界及び海岸線で囲まれる行政区。

上位クラス：国土数値情報地物

抽象/具象区分：具象

属性

場所：GM_Surface

空港区域の位置。

行政区域コード[1..n]：行政コード

都道府県コードと市区町村コードからなる、行政区を特定するためのコード。

■ 定義域

「行政コード」がとりうる値。

種別：空港種別コード

空港整備法に基づく、空港の種類による区別。

■ 定義域

「空港種別コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
1	空港整備法に基づく第一種空港
2	空港整備法に基づく第二種空港
3	空港整備法に基づく第三種空港
4	自衛隊、米軍との共用飛行場
5	その他の公共飛行場

供用中・建設中の区別：供用状況コード

空港が供用されているか建設中かの区別。

■ 定義域

「供用状況コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
1	供用中
2	建設中

名称：CharacterString

空港の正式名称。

■ 定義域

ひらがな，カタカナ，漢字，数字等による文字列。

設置者：設置者・管理者コード

空港を設立した組織。

■ 定義域

「設置者・管理者コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
1	国土交通大臣
2	防衛大臣
3	米軍
4	公団
5	都道府県
6	市町村

管理者：設置者・管理者コード

空港を管理している組織。

■ 定義域

「設置者・管理者コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
1	国土交通大臣
2	防衛省
3	米軍
4	公団
5	都道府県
6	市町村

特定飛行場の指定状況：特定飛行場指定状況コード

「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」によって、特定の指定を受けているかどうかの区別。

■ 定義域

「特定飛行場指定状況コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
1	「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づく特定飛行場で、かつ周辺整備空港に指定されている場合
2	周辺整備空港に指定されていない特定飛行場
3	特定飛行場以外

運用時間（開始）：Sequence<Integer>

1日のうちで、空港の運用が開始する時刻。

■ 定義域

「時」、「分」とともに、2桁の整数で記述し、「時」と「分」の間には、スペースをいれる。

例： 7時30分の場合 → 「07 30」

0時0分の場合 → 「00 00」

（運用時間が24時間の場合、開始時刻は0時0分とする）

運用時間（終了）：Sequence<Integer>

1日のうちで、空港の運用が終了する時刻。

■ 定義域

「時」、「分」とともに、2桁の整数で記述し、「時」と「分」の間には、スペースをいれる。

例： 21時30分の場合 → 「21 30」

24時0分の場合 → 「24 00」

（運用時間が24時間の場合、終了時刻は24時0分とする）

定期便の有無：定期便の有無コード

当該空港に定期便があるかどうかの区別。

■ 定義域

「定期便の有無コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
1	ジェット定期便が就航している場合
2	プロペラ定期便が就航している場合
3	定期便が就航していない場合

関連役割：

ターミナルビル[1..n]：ターミナルビル

当該空港に存在するターミナルビル。

標点[1..n]：標点

当該空港に存在する標点。

滑走路[1..n] : 滑走路

当該空港に存在する滑走路。

調査内容[1..n] : 調査内容

1日当たり着陸回数や乗降客数など、当該空港について行われる毎年の調査の内容。

ターミナルビル

抽象/具象区分 : 具象

属性

地点 : GM_Point

ターミナルビルの位置。

標点

抽象/具象区分 : 具象

属性

地点 : GM_Point

標点の位置。

滑走路

抽象/具象区分 : 具象

属性

滑走路延長 : Integer

滑走路の長さ。単位は「m」。

滑走路幅 : Integer

滑走路の幅。単位は「m」。

調査内容

抽象/具象区分：具象

属性

調査年：TM_Instant

調査を行った時期。

■ 定義域

昭和や平成などの元号で「年」のみを記す。

1日あたりの着陸回数：Integer

当該空港の、1年間の着陸回数を365日で除した値。

1日あたりの乗降客数：Integer

当該空港の、1年間の乗降客数を365日で除した値。

4.1.6 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

本仕様書に関係のあるコードリストは以下のとおり。

- ・ 行政コード
- ・ 設置者・管理者コード
- ・ 定期便の有無コード

なお、コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2000 / (B,L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC / JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	空港
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データに含まれる個々のデータ（地物インスタンス）同士の対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参照データと対応関係がとれない地物インスタンスがデータ集合内に存在する場合。 データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。本体を除き、重複している余分なデータの個数をすべてエラーとして数える。 <p>誤率（%）＝（過剰なデータ数／参照データに含まれるデータの総数）×100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>①地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <p>②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。</p> <p>③計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>誤率＝0% であれば“合格”</p> <p>誤率＞0% であれば“不合格”</p>
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	空港
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データに含まれる個々のデータ（地物インスタンス）同士の対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。次の場合、エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参照データと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 <p>誤率（%）＝（漏れのデータ数／参照データに含まれるデータの総数）×100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>①地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <p>②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。</p> <p>③計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p>

	誤率=0% であれば“合格” 誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	データの漏れの割合：0%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合のファイルの書式が XML の文法（構文）に適合しているか、検査プログラム（XML パーサなど）によって評価する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラーの割合：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。</p> <p>XML スキーマに対する XML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。</p> <p>■地物に関する検査項目</p> <p>地物インスタンスの型（地物型）が、応用スキーマが規定する地物型と合致しない場合エラーとする。</p> <p>■空間スキーマに関する検査項目</p> <p>データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。</p> <p>各クラス単位に検査項目を示す。</p> <p>[GM_Surface]</p> <ul style="list-style-type: none"> orientationの値が+でない場合、エラーとする。 primitiveで参照するオブジェクトが自身でない場合、エラーとする。 GM_Surfaceを構成する複数のpatch要素に、同じGM_Polygonが2回以上出現する場合、エラーとする。

	<p>[GM_Polygon] interpolation の値が “planar” でない場合、エラーとする。</p> <p>[GM_SurfaceBoundary] interior 要素に、同じ GM_Ring が 2 回以上出現する場合、エラーとする。</p> <p>[GM_Ring]</p> <ul style="list-style-type: none"> • orientation の値が + でない場合、エラーとする。 • generator 要素に、GM_Curve 又は GM_OrientableCurve 以外のオブジェクトを参照している場合は、エラーとする。 • generator 要素に、同じ GM_Curve 又は 同じ GM_OrientableCurve を 2 回以上参照している場合は、エラーとする。 <p>[GM_Curve]</p> <ul style="list-style-type: none"> • orientation の値が + でない場合、エラーとする。 • primitive で参照するオブジェクトが自身でない場合、エラーとする。 <p>[GM_OrientableCurve]</p> <ul style="list-style-type: none"> • orientation の値が - でない場合、エラーとする。 • primitive で参照するオブジェクトの形が GM_Curve でない場合、エラーとする。 <p>[GM_LineString]</p> <ul style="list-style-type: none"> • controlPoint の数が 2 点未満の場合、エラーとする。 • GM_LineString の始点及び終点が indirect によって参照されていない場合、エラーとする。 • GM_LineString の始点及び終点以外の点が direct によって参照されていない場合、エラーとする。 <p>[GM_PointRef]</p> <ul style="list-style-type: none"> • point 要素の参照先のオブジェクトが GM_Point 以外である場合エラーとする。 <p>[DirectPosition]</p> <ul style="list-style-type: none"> • dimension の値が 2 以外である場合エラーとする。 • coordinate に記録される数値の個数が dimension の値と異なる場合エラーとする。 • coordinate に記録される数値のセパレータが空白文字以外の場合エラーとする。
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>応用スキーマを表現する XML スキーマとデータ集合に矛盾がないか、検査プログラム（バリデータなど）によって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の割合：0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>地物属性インスタンスの値が、応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率 (%) = (定義域外の値をもつ地物属性の数 / データ集合内の地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>属性の値が、主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの割合 : 0%

品質要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	空港
データ品質評価尺度	<p>XML 文書として記録されるデータ集合がもつ位相属性及び位相を含む幾何属性の一貫性を検査し、エラーの割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率 (%) = (位相一貫性のエラーの数 / 検査対象となるアイテムの総数) × 100</p> <p>■空間スキーマに対する検査項目</p> <p>[GM_Surface]</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数のGM_Polygonで構成されるGM_Surfaceにおいて、他のGM_PolygonとGM_Curveを共有しないGM_Polygonがある場合、一つの面を構成することにならないので、これをエラーとする。 複数のGM_Polygonで構成されるGM_Surfaceにおいて、patchを構成するGM_Polygonの構成点が他のGM_Polygonの内部に存在する（面のねじれをもつ）場合、エラーとする。 <p>[GM_Polygon]</p> <p>GM_Polygon を構成する座標がすべて同一平面上に存在しない場合、エラーとする。</p> <p>[GM_SurfaceBoundary]</p> <ul style="list-style-type: none"> interior要素を構成するGM_Ringが、exterior要素を構成するGM_Ringと交差する場合、エラーとする。 interior要素を構成するGM_Ring同士が互いに交差する場合、エラーとする。 exterior要素を構成するGM_Ring同士が互いに交差する場合、エラーとする。 interior要素を構成するGM_Ringが、同じGM_SurfaceBoundaryのinterior要素のGM_Ringに包含される場合、エラーとする。 <p>[GM_Ring]</p>

	<p>GM_Ring の始点及び終点以外で自己交差又は自己接触する点をもつ場合、エラーとする。</p> <p>[GM_Curve]</p> <ul style="list-style-type: none"> • segmentを構成する各線分の終点が次の始点と一致しない場合、これをエラーとする。但し、最後の線分は除く。 • GM_Curveの始点及び終点以外で自己交差又は自己接触する点をもつ場合、エラーとする。 <p>[GM_LineString]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2点又は2点のcontrolPointで構成されるGM_LineStringの始点と終点と同じGM_Pointを参照する場合、エラーとする。 • GM_LineString が自己交差若しくは始点及び終点以外で自己接触する点をもつ場合、エラーとする。
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>位置の関係の一貫性が保たれているか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	位相一貫性のエラーの割合：0%

データ品質適用範囲	ターミナルビル
データ品質評価尺度	<p>データ集合内の標点、ターミナルビルが、該当する空港に囲まれる範囲内に存在しない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率 (%) = (範囲内に存在しない地物の数 / データ集合内の地物の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	位相一貫性のエラーの割合：0%

品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	標点
データ品質評価尺度	<p>データ集合内の地物の位置座標の値が、参照データがもつ座標値と一致しない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率 (%) = (異なる座標値をもつ地物の数 / データ集合内の地物の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>座標値が、参照データの座標値と一致するか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	絶対正確度のエラーの割合：0%

品質要素	主題正確度・分類の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データとの比較を行い、地物型が正しく特定されていないデータ数を数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率（％）＝（地物型が正しく特定されていないデータ数／参照データに含まれるデータの総数）×100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>①地物型が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <p>②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。</p> <p>③計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>“適合品質水準≧誤率”であれば“合格”</p> <p>“適合品質水準<誤率”であれば“不合格”</p>
適合品質水準	地物型の分類のエラーの割合：0%

品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	空港
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データに含まれる個々のデータ（地物インスタンス）同士の一对一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。次の場合、エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地物属性“行政区画コード”の内容が正しくない場合。 ● 地物属性“種別”の内容が正しくない場合。 ● 地物属性“供用中・建設中の区別”の内容が正しくない場合。 ● 地物属性“名称”の内容が正しくない場合。 ● 地物属性“設置者”、“管理者”の内容が正しくない場合。 ● 地物属性“特定飛行場の指定状況”の内容が正しくない場合。 ● 地物属性“運用時間（開始）”、“運用時間（終了）”の内容が正しくない場合。 ● 地物属性“定期便の有無”の内容が正しくない場合。 <p>誤率（％）＝（地物属性のエラー数／検査した地物属性の総数）×100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>①地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <p>②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。</p> <p>③計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>“適合品質水準≧誤率”であれば“合格”</p>

	“適合品質水準<誤率”であれば“不合格”
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの割合：0%

品質要素	主題正確度・定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	滑走路
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データに含まれる個々のデータ（地物インスタンス）同士の対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。次の場合、エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地物属性"滑走路延長"の値が一致しない場合。 ・地物属性"滑走路幅"の値が一致しない場合。 <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数 / 検査した地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>①地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <p>②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。</p> <p>③計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>“適合品質水準≥誤率”であれば“合格”</p> <p>“適合品質水準<誤率”であれば“不合格”</p>
適合品質水準	定量的な主題属性のエラーの割合：0%

データ品質適用範囲	調査内容
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データに含まれる個々のデータ（地物インスタンス）同士の対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。次の場合、エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地物属性"1日あたりの着陸回数"の値が一致しない場合。 ・地物属性"1日あたりの乗降客数"の値が一致しない場合。 <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数 / 検査した地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>①地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <p>②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。</p> <p>③計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>“適合品質水準≥誤率”であれば“合格”</p> <p>“適合品質水準<誤率”であれば“不合格”</p>
適合品質水準	定量的な主題属性のエラーの割合：0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則

■ 符合化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、JPGIS 附属書 8 に掲載されている XML Schema を採用する。

国土数値情報（**空港**）応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、符合化仕様の詳細については付属資料を参照のこと。

名前空間：<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞：**ksj**

名前空間（コードリスト）：<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app-cd>

名前空間接頭辞（コードリスト）：**ksjc**

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス（JPGIS 準拠データ）

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数值情報（空港）製品仕様書 第 1.1 版

付属資料

1 符合化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
国土数値情報データ集合パッケージ					
	国土数値情報データ集合			AA01	—
		参照系	RS_CRS	RES	reference system
		オブジェクト(地物)	国土数値情報地物	OBJ	object
		オブジェクト(メッシュ)	国土数値情報メッシュ	OBJ-m	object
	国土数値情報地物			AA02	—
	国土数値情報メッシュ			mAA02	—
沿岸域パッケージ					
	空港パッケージ				—
	空港			CF02	airport
		場所	GM_Surface	LOC	location
		行政区域コード	行政コード	AAC	administrative area code
		種別	空港種別コード	COA	classification of airport
		供用中・建設中の区別	供用状況コード	IUC	In-service or under construction
		名称	CharacterString	NA3	name
		設置者	設置者・管理者コード	INP	Installation personnel
		管理者	設置者・管理者コード	AD2	administrator
		特定飛行場の指定状況	特定飛行場指定状況コード	DSA	specific airport

		クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
			運用時間(開始)	Sequence<Integer>	OPT	operating time
			運用時間(終了)	Sequence<Integer>	CLT	closed time
			定期便の有無	定期便の有無コード	REF	regular flight
			標点	標点	ARP	airport reference point
			ターミナルビル	ターミナルビル	ATB	airport terminal building
			調査内容	調査内容	ASI	airport surveying item
			滑走路	滑走路	RNW	runway
		標点			CF03	reference point
			地点	GM_Point	POS	position
		ターミナルビル			CF04	terminal building
			地点	GM_Point	POS	position
		調査内容			CF05	surveying item
			調査年	TM_Instant	YS2	year of survey
			1日あたりの着陸回数	Integer	LFD	landing frequency a day
			1日あたりの乗降客数	Integer	NPD	number of passengers a day
		滑走路			CF06	runway
			滑走路延長	Integer	RWL	runway length
			滑走路幅	Integer	RWW	runway width

2 符合化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"
xmlns:jps="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"
xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" elementFormDefault="unqualified"
attributeFormDefault="unqualified">
  <xs:annotation>
    <xs:appinfo>KsjAppSchema-C28-v1_1.xsd </xs:appinfo>
    <xs:documentation>国土数値情報(空港)第1.1版応用スキーマのXMLスキーマ文書
</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:import namespace="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"
schemaLocation="jpsRoot.xsd"/>
  <xs:import namespace="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"
schemaLocation="jpsGrid.xsd"/>
  <xs:import namespace="http://www.w3.org/1999/xlink" schemaLocation="xlinks.xsd"/>
  <!-- GI -->
  <xs:element name="GI">
    <xs:complexType>
      <xs:sequence>
        <xs:element name="exchangeMetadata" type="jps:ExchangeMetadata" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="dataset" type="ksj:Dataset" minOccurs="0"/>
      </xs:sequence>
      <xs:attribute name="version" type="jps:CharacterString" use="required" fixed="1.0"/>
      <xs:attribute name="timeStamp" type="jps:DateTime" use="required"/>
    </xs:complexType>
  </xs:element>
  <xs:complexType name="Dataset">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="crs" type="jps:ref_RS_CRS" minOccurs="0" maxOccurs="2"/>
      <xs:element ref="ksj:object"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="object">
    <xs:complexType>
      <xs:group ref="ksj:Object" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
      <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
    </xs:complexType>
  </xs:element>
  <xs:group name="Object">
    <xs:sequence>
      <xs:any namespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"/>
    </xs:sequence>
  </xs:group>
```

```

<!-- ===== -->
<!--          データ集合、国土数値情報地物、国土数値情報メッシュ          -->
<!-- ===== -->
<!-- =====国土数値情報データ集合パッケージ===== -->
<!-- 国土数値情報データ集合 -->
<xs:element name="AA01" type="ksj:AA01"/>
<xs:complexType name="AA01">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jps:IM_Object">
      <xs:sequence>
        <xs:element ref="ksj:RES" minOccurs="1" maxOccurs="2"/>
        <xs:element ref="ksj:OBJ" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element ref="ksj:OBJ-m" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RES" type="jps:ref_RS_CRS"/>
<xs:element name="OBJ">
  <xs:complexType>
    <xs:annotation>
      <xs:documentation>国土数値情報データ集合の地物への関連</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:choice maxOccurs="unbounded">
      <xs:any namespace="http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"/>
    </xs:choice>
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
  </xs:complexType>
</xs:element>
<xs:element name="OBJ-m">
  <xs:complexType>
    <xs:annotation>
      <xs:documentation>国土数値情報データ集合のメッシュへの関連</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:choice maxOccurs="unbounded">
      <xs:any namespace="http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"/>
    </xs:choice>
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
  </xs:complexType>
</xs:element>
<!-- 国土数値情報地物 -->
<xs:element name="AA02" type="ksj:AA02" abstract="true"/>
<xs:complexType name="AA02" abstract="true">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jps:IM_Object"/>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- 国土数値情報メッシュ -->
<xs:element name="mAA02" type="ksj:mAA02" abstract="true" substitutionGroup="jps:JP_Grid"/>
<xs:complexType name="mAA02" abstract="true">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jps:JP_Grid"/>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

</xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- ===== -->
<!--                空港                -->
<!-- ===== -->
<!-- =====沿岸域パッケージ===== -->
<!--  空港  -->
<xs:element name="CF02" type="ksj:CF02" substitutionGroup="ksj:AA02"/>
<xs:complexType name="CF02">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ksj:AA02">
      <xs:sequence>
        <xs:element ref="ksj:ARE"/>
        <xs:element ref="ksj:AAC" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element ref="ksj:COA"/>
        <xs:element ref="ksj:IUC"/>
        <xs:element ref="ksj:NA3"/>
        <xs:element ref="ksj:INP"/>
        <xs:element ref="ksj:AD2"/>
        <xs:element ref="ksj:DSA"/>
        <xs:element ref="ksj:OPT"/>
        <xs:element ref="ksj:CLT"/>
        <xs:element ref="ksj:REF"/>
        <xs:element ref="ksj:ARP" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element ref="ksj:ATB" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element ref="ksj:ASI" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element ref="ksj:RNW" maxOccurs="unbounded"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="AAC" type="jps:CodeType"/>
<xs:element name="COA" type="ksj:CF07"/>
<xs:element name="IUC" type="ksj:CF08"/>
<xs:element name="NA3" type="jps:CharacterString"/>
<xs:element name="INP" type="jps:CodeType"/>
<xs:element name="AD2" type="jps:CodeType"/>
<xs:element name="DSA" type="ksj:CF09"/>
<xs:element name="OPT" type="jps:Sequence_Integer"/>
<xs:element name="CLT" type="jps:Sequence_Integer"/>
<xs:element name="REF" type="jps:CodeType"/>
<xs:element name="ARP" type="ksj:CF03"/>
<xs:element name="ATB" type="ksj:CF04"/>
<xs:element name="ASI" type="ksj:ref_CF05"/>
<xs:complexType name="ref_CF05">
  <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
</xs:complexType>
<xs:element name="RNW" type="ksj:CF06"/>
<!-- 標点 -->
<xs:element name="CF03" type="ksj:CF03"/>
<xs:complexType name="CF03">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jps:IM_Object">
      <xs:sequence>

```

```

        <xs:element ref="ksj:POS" />
    </xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- ターミナルビル -->
<xs:element name="CF04" type="ksj:CF04" />
<xs:complexType name="CF04">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jps:IM_Object">
            <xs:sequence>
                <xs:element ref="ksj:POS" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- 調査内容 -->
<xs:element name="CF05" type="ksj:CF05" />
<xs:complexType name="CF05">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jps:IM_Object">
            <xs:sequence>
                <xs:element ref="ksj:YS2" />
                <xs:element ref="ksj:LFD" />
                <xs:element ref="ksj:NPD" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="YS2" type="jps:ref_TM_Instant" />
<xs:element name="LFD" type="jps:Integer" />
<xs:element name="NPD" type="jps:Integer" />
<!-- 滑走路 -->
<xs:element name="CF06" type="ksj:CF06" />
<xs:complexType name="CF06">
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="jps:IM_Object">
            <xs:sequence>
                <xs:element ref="ksj:RWL" />
                <xs:element ref="ksj:RWW" />
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RWL" type="jps:Integer" />
<xs:element name="RWW" type="jps:Integer" />
<!-- 空港種別コード -->
<xs:simpleType name="CF07">
    <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:enumeration value="空港整備法に基づく第一種空港" />
        <xs:enumeration value="空港整備法に基づく第二種空港" />
        <xs:enumeration value="民間企業" />
        <xs:enumeration value="空港整備法に基づく第三種空港" />
        <xs:enumeration value="自衛隊、米軍との共用飛行場" />
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>

```

```

        <xs:enumeration value="その他の公共飛行場"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 供用状況コード -->
<xs:simpleType name="CF08">
    <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:enumeration value="供用中"/>
        <xs:enumeration value="建設中"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 特定飛行場指定状況コード -->
<xs:simpleType name="CF09">
    <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:enumeration value="「公共用飛行場周辺における航空機騒音による
障害の防止等に関する法律」に基づく特定飛行場で、かつ周辺整備空港に指定されている場合"/>
        <xs:enumeration value="周辺整備空港に指定されていない特定飛行場
"/>
        <xs:enumeration value="特定飛行場以外"/>
        <xs:enumeration value="未定"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- ===== -->
<!-- (ベクトルデータ) 空間スキーマプロファイルへの参照 -->
<!-- ===== -->
<!-- 空間属性GM_Pointへの参照 -->
<xs:element name="POS" type="jps:ref_GM_Point"/>
<!-- 空間属性GM_Curveへの参照 -->
<xs:element name="LOC" type="jps:ref_GM_Curve"/>
<!-- 空間属性GM_Surfaceへの参照 -->
<xs:element name="ARE" type="jps:ref_GM_Surface"/>
</xs:schema>

```